

# 丘の上の学舎

～若い芽・強い木・愛の花～



令和8年5月27日

## 「期待が育むもの」

第二十三代校長 石橋 善仁



「育てる」という言葉から、どんなことを思い浮かべますか。

野菜を育てること、花を育てること、そして子供を育てること。

昨年開催された大阪・関西万博の「EARTH MART (アースマート)」の展示には、そんな「育てること」の大切さを教えてくれる言葉がありました。

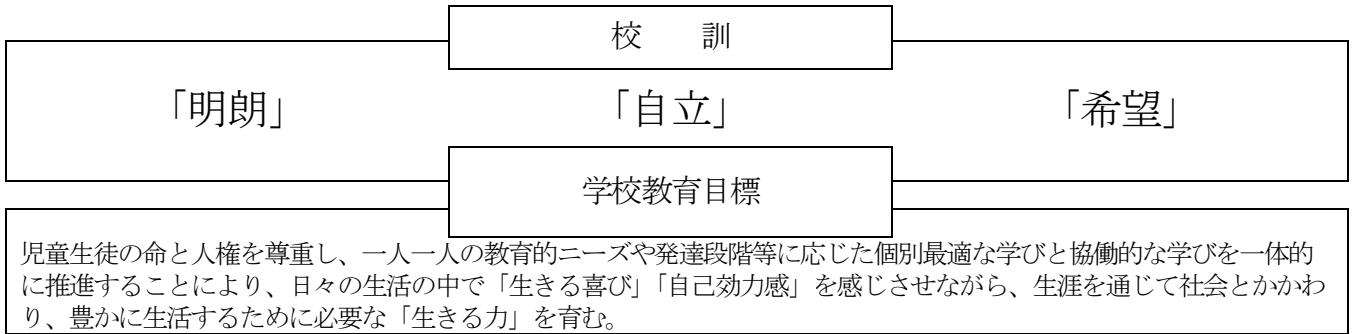
その「EARTH MART (アースマート)」の展示に野菜や花、種を提供された雲仙市で「雲仙たねの自然農園」の経営者、岩崎さんは、種を育てることと子育てを次のように語っていました。

「種を採り、野菜を育て続けて分かったことがある。期待を持って育てれば、作物も生産者に嫌われないよう育とうとする。野菜の持っている欠点を摘むことばかりを考えずに、長所を伸ばす。そうしながら種取りを重ねると、5年、10年後に結果が出る。まるで子育てのよう。」私たちはつつい欠点とか短所に目が行きがちですが、少し角度を変えて子供を見ると良いところが沢山あります。人は欠点や短所ではなく、長所や強みを生かして将来、社会で生活していきます。私たち大人は多面的に子供たちを見る目を持ちたいと思っています。

そして、子供たちの味方でいたいと思っております。これからも手を携えて子供たちのために共に支えてまいりましょう。



# 令和8年度 学校経営方針



めざす学校像	めざす児童生徒像	めざす教職員像
○児童生徒の命の尊さや人権を尊重し、一人一人を大切に作る学校 ○児童生徒が安心して明るく生き生きと学べる学校 ○地域の特別支援教育の核となる学校	○心身ともに健康でたくましく生きる児童生徒 ○思いやりの心を持ち、心豊かに生活する児童生徒 ○夢や願いに向けて挑戦し、社会に貢献する児童生徒	○児童生徒の心情を理解し、児童生徒と共に歩む教職員 ○肢体不自由教育、重複障害教育の専門性を追求する教職員 ○保護者や地域から信頼される教職員

